

「ぼうさいお片付け」で在宅避難のすすめ

災害に強い家や部屋にするため「ぼうさいお片付け」を通して安全・安心な家にしませんか。大地震が起きた時、電気、ガス、水道が止まっても、家が安全なら、自宅で避難生活をする「在宅避難」が出来るようにしましょう。

「ぼうさいお片付け」とは…

- ・衣服の分別や子どもが残した本などを処分し、水や食料などの備蓄品を置いたり生活できる空間をつくる。
- ・よく使う食器やお気に入りの食器だけ残して、割れて危険な物を少なくする。
- ・タンスや食器棚の配置の見直しや買い替えのついでに、家具が転倒しないよう固定する。 など

日常の掃除や整理・整頓、大掃除の時に、誰でも取り組める減災活動です。

とはいっても…

一人で整理整頓するのは気が重い

家具は重たくて自分たちだけでは動かせない



片付けた後の、重たいごみや大きい物を運べない

家具固定のネジや用具を取り付ける方法がわからない

自治会と連携して、山崎団地にお住まいのKさんが「ぼうさいお片付け」にチャレンジしました！



Kさん(80代)
山崎団地に
お一人でお住まい

山崎団地に50年住んでいます。物がいろいろと増えたので片付けをしたいのですが、重たいごみを外に運ぶのは大変だと思っていた。リビングが寝室を兼ねているので、安全な部屋にしたいです。



ぼうさいお片付けチェック！

- 1 食器吊戸棚のガラスが割れて怪我をする
- 2 冷蔵庫が倒れたら、玄関まで行けない
- 3 タンスが倒れて下敷きになると動けない
- 4 食器が飛び出して割れたら怪我をする
- 5 靴棚が倒れたら外に避難できない
- 6 不用品は廃棄して空間を確保

▶ お片付けの詳細は裏面をご覧ください

まずは、日中くつろぐ空間でもあり寝室でもあるリビングを安全・安心な空間にしていきましょう！



減災アドバイザー
鈴木さん

一般社団法人減災ラボ、博士(工学) 被災地での活動経験が豊富。自宅マンションを「減災リノベーション」したばかり。

1 飛散防止フィルムと滑り止めシート



2 冷蔵庫をチェーンで固定



3 タンスを金具で固定



4 廃棄する食器の仕分



5 高い靴棚を低い靴ケースに



6 倒れたら危険な食器棚の撤去



不要品の廃棄



Kさん

自治会からの紹介だったので安心してチャレンジできました。



重たいごみの廃棄などは助かりました。片付いた部屋を見て、危ない所があったと気づきました。安全な家になりもっと長生きをしたいと思います。



減災アドバイザー
鈴木さん



災害時にライフラインが止まっても住み慣れた家で生活できるよう、最低限3日分の水や食料を備えておきましょう。

町田市防災課
山内さん



皆さんも寝室や割れ物が多い台所だけでも、ぼうさいお片付けをやってみてくださいね。

今回掛かった費用(約):片付けサポート15,000円 家具固定12,000円(3箇所) 不用品の廃棄10,000円

町田山崎団地版「ぼうさいお片付け」を一緒に取り組んだメンバー

プラスハート

☎ 042-793-1236

山崎団地商店街の雑貨店で「お客様のお役に立ちたい」がモットーの地域密着店です。「お助け侍」として暮らしのお困り事を気軽にご相談いただけます。不用品の買取もでき、お片付けがさらにお安く便利になります。時間制作業の女性スタッフも好評です。



ネコサポ

☎ 0120-545425

ヤマト運輸のヤマトグループが運営するサービスです。時間制メニューでは15分単位で、ごみの仕分け・運び出し、電球交換、草むしりなど生活のお困りごとを解決いたします。お気軽にご相談ください。(町田市でのサービス提供は5月下旬からの予定です)



ブックオフ

☎ 042-739-4580

不要品でも、まだ使えるアイテムはリユースすることでお片付けにかかる費用を軽減できます。ブックオフ町田中央通り店では、本・CD・DVDの他に、洋服・おもちゃ・電化製品などの取り扱いを行っております。詳しくはお電話、またはHPよりご確認ください。



【参考】

「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」

転倒等の防止対策を正しい方法で効果的に行うためのポイントが具体的に紹介されています。



この取り組みは2023年「DANCHI Caravan in 町田山崎～暮らしながら、防災を～」の一環で取り組みました。

協力:町田山崎団地自治会・自主防災会、UR都市機構、(有)プラスハート、ヤマト運輸(株)、ブックオフグループホールディングス(株)、(一社)減災ラボ
企画・制作:町田市防災安全部防災課 2023年3月